

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	研究棟	階数	地上3F
建設地	京都府相楽郡	構造	S造
用途地域	準工業地域、市街化区域、防火地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年11月15日
敷地面積	10,658㎡	作成者	
建築面積	2,116㎡	確認日	2019年12月3日
延床面積	3,793㎡	確認者	須藤裕之



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	73%
③上記+②以外の	73%
④上記+	73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

音環境	3.0
温熱環境	1.7
光・視環境	2.1
空気質環境	4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.7
耐用性	3.0
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.7
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

水資源	3.4
非再生材料の	3.7
汚染物質	4.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	4.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
けいはんな地区にふさわしく敷地周囲に緑地、植栽を配置する計画とした。敷地周囲にはフェンス等を設けず、周囲の景観、通風に配慮した。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
シックハウス対策等F☆☆☆☆材料の全面的採用や、建屋内全面禁煙とした。	設備スペースを含めた十分な階高を確保した。	敷地周囲に条例で求められている以上の緑地を確保した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光発電設備の設置。	一部再生材の採用や有害物質を含まない材料選定を行う。	事業所に必要な駐車台数確保した。また、建物からの反射光(グレア)を抑える為、建屋外部にルーバーを設置する計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される